

美原記念病院ブレインバンクからの年次報告(2021年度)

Annual reports from Mihara Memorial Hospital Brain Bank (FY 2021)

田野 光敏¹⁾ 井上 拓也¹⁾ 渋沢 直子¹⁾ 佐藤 菜津美¹⁾ 諏訪部 桂¹⁾

高橋 陽子¹⁾ 美原 盤¹⁾ 美原 恵里²⁾ 美原 樹¹⁾ 高尾 昌樹¹⁾³⁾

1)公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院

2)公益財団法人脳血管研究所 介護老人保健施設アルボース

3)国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部

[目的]美原記念病院ブレインバンクにおける2021年度末までの現状を報告する。

[方法]当施設は2007年からブレインバンクを整備し、剖検、その後組織診断できる体制を確立し、症例を蓄積してきた。右脳と脊髄の一部、必要に応じて一般組織を-80℃で保管し、分子生物学的解析、研究のため保存している。他施設からの剖検依頼や標本作製、診断依頼も受け入れる体制とした。

[結果]2021年度は7症例を登録し、312例(2021年11月末)の凍結試料を有している。最も多い疾患はプリオン病で凍結試料が77例あり、臨床診断、入院受け入れ、剖検、組織診断まで対応をしており依頼剖検も多い。次に多いのは筋萎縮性側索硬化症の42例。続いて脳梗塞27例、脳出血24例、アルツハイマー型認知症22例、レビー小体型認知症16例、神経原線維変化型認知症15例、パーキンソン病11例、多系統萎縮10例、脊髄小脳変性症6例、進行性核上麻痺6例、大脳皮質基底核変性症3例、その他の神経変性疾患5例、110歳以上の超百寿者21例、その他の症例が27例であった。標本作製・診断依頼は5件であった。

剖検依頼は3件行っており、プリオン病剖検が困難な施設、臨床的にプリオン病も念頭におかれ剖検ができないケースや、剖検施設がない療養型病院や老人ホームにおいても、事前同意されている場合は各施設と連絡をとり、当院で患者搬送を行い剖検している。

[結語]研究者へのブレインバンク試料提供に伴い、凍結脳以外の試料提供に関する相談が多くなってきている。今後は、当院のブレインバンク体制をさらに充実させ、研究の発展のために貢献したい。